

起工竣工

0981

起案罰紙

大正四年三月

日起案  
起案者  
捺印

三月十六日  
日發付  
捺印

發付後起  
案者捺印

(雜案)

艦政本部長

第三部長

部員

大臣

副官

第四部長

第二部長

外波

柳

松

次官

參事官

會計課長

三

軍務局長

秋山

局員

三

原

局部	官房	軍務	人事	醫務	經理	司法	艦政	教育	臨建	水路	軍令
受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日	受月日
發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日	發月日

大正四年三月十八日

海軍大臣

佐鎮第一七七号史船竣工延期案件認許ス

原

番

六九二號

0982



佐鎮第一七七號

大正四年三月五日

佐世保鎮守府司令長官 藤井 敬

海軍大臣 八代六郎殿

曳船竣工延期之件

(以條)

第三部 第二部 會計課

大正五年官房第三四二八號訓令ニ依リ軍備補充

費ヲ以テ當工廠ニ於テ製造中ノ百五拾噸曳船

三隻(第五橫須賀丸 第六吳丸 第五佐世保丸)及六

噸曳船九隻(自公稱第三五一號至公稱第三五九號)ハ本年夏中ニ竣工ヲ要ス

度時局ニ際シ特設船舶ノ修裝解裝並重要艦

艇ノ修理等諸工事輻輳ノ爲一時製造工事中止

結果先通リ竣工豫定延期致度候條候



二八八号

許相成度

右 上申一又

百五拾噸船三隻

竣工陳定期

大正四年八月三十日

六拾噸船

白第三五二号

五隻

全

大正四年四月十五日

全

白第三五六号

四隻

全

大正四年七月十五日

(終)

0225

起案郵紙

大正四年 月

日起案 起案者 捺印

(八)

二月廿三日

日發付 發付掛 捺印

(八)

發付後起 案者捺印

(八)

稟案

艦政本部長 村登

第三部長

部員

(八)

大臣

(印)

副官

(印)

第四部長

(印)

第一部長

(印)

第二部長

(印)

會計課長

(印)

次官

(印)

參事官

(印)

局員

(印)

局員

(印)

局員

(印)

局員

(印)

局員

(印)

軍務局長

(秋山)

局員

(印)

局員

(印)

經理局

(勝)

局員

(久野)

大正四年三月二十三日

海軍大臣

舞鎮第三号、四里島名埃二期、件認許

號番

官房第八七四號

海

軍

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	軍務	官房	局、部
										受月日
										發月日

4.3.17 受接

3.1 部

4.3.15 受接

0386

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海  
信

0987

總政本部

第三部  
第四部  
會計部

軍務局

舞鶴鎮第二三號

大正四年三月十一日

舞鶴鎮守府司令長官 坂本

海軍大臣八代六郎殿

黒島丸竣工延期、件

大正二年十二月十八日付官房第三四六  
號ノ二訓令ニ基キ製造中ノ大型敷設  
船黒島丸、竣工期ハ本月三十一日、豫定  
ニ有之候處、今般機関ハ三年十月中  
竣工、豫定ヲ以テ之レラ佐世保海軍工廠  
ニ製造方委託シ竣工ノ上今年十二月一日

官房第三四六號

4.3.13

新舞鶴西村納



發ノ官船便豊橋丸ニ搭載ノ據定ナリ  
 シモ積載荷物ノ都合上罐本休ノ輸送ヲ  
 受クル能ハズ一方汽車便ニモ容積ノ關係  
 上搭載ニ能ハサリシ為漸ク本年二月中  
 旬若官丸便ニテ到達致候様ノ次第  
 ラ爾來極力工事ノ進捗ヲ計リシモ  
 鹿島、吾妻其他工事ノ都合上到底  
 年度内ニ完成難致候ニ就テ竣工  
 據定期ヲ來四月二十五日迄延期致度  
 候條御認許相成度  
 右  
 上申ス

係

起案郵紙

號番

大正四年七月八日  
 日起案捺印

八

七月八日  
 日發付捺印

六

發付後起  
 案者捺印

大臣

郵政次部長

第三部長

郵政局長

官房

局部

大臣

次官

參事官

副官

第四部長

郵政局長

郵政局長

郵政局長

郵政局長

郵政局長

郵政局長

郵政局長

軍務局長

局員

局員

局員

局員

七月八日

電信案

大正四年七月八日  
 海軍次官

佐鎮參謀長

連の露丸、核威候案品取外に附水工をソナシ又

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部

0990

泉月丸と同様トシ  
三隻トシ八月十日  
（結）ニ竣工セシメ

0991

總政本部長

第三部  
會計課

6.

大正四年

七月

二日 午後

一時三十分

海軍省  
信局

受信者 本部長

電報譯

發信者 佐藤鎮平 陸軍省本部長

答八月十日ナリ

皇太后九段之期ノ件

③

**電 報 着 信 紙**

局 着		局 發					名 氏 所 居 人 信 受	
取 扱 者	受 信	付 受 午 後	付 受 午 前	月 日	第 之 號	局	官 報	カシハツキ 一〇七 三 二
		字	分	日	號	局		
指 定  カシハツキ 一〇七							定 指	
						番 號	紙 張	名 氏 所 居 人 信 受
						第 三 號	第 三 號	第 三 號
						印 附 日 信 着		

0993

軍務局長

秋山

局員

田

海

軍

海

海

政務 14.7.1 受接

艦政本部長

村松

第三部長

田

部員

田

田

田

軍務局長 田 14.7.1

電信

大正四年七月

政務 4.7.2

本部長

佐藤参謀長

海軍次官アテ電報連丸外二隻の圖を昨日

電文中一年月丸七月十日以前ニハトア

十中ハ異キナリガヤ

八月一ノ誤リナキヤ

0934

見

艦政本部

軍務局

大正四年六月廿六日  
海軍省  
局長

受信者 次長

電報譯

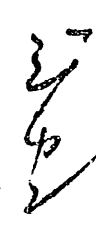
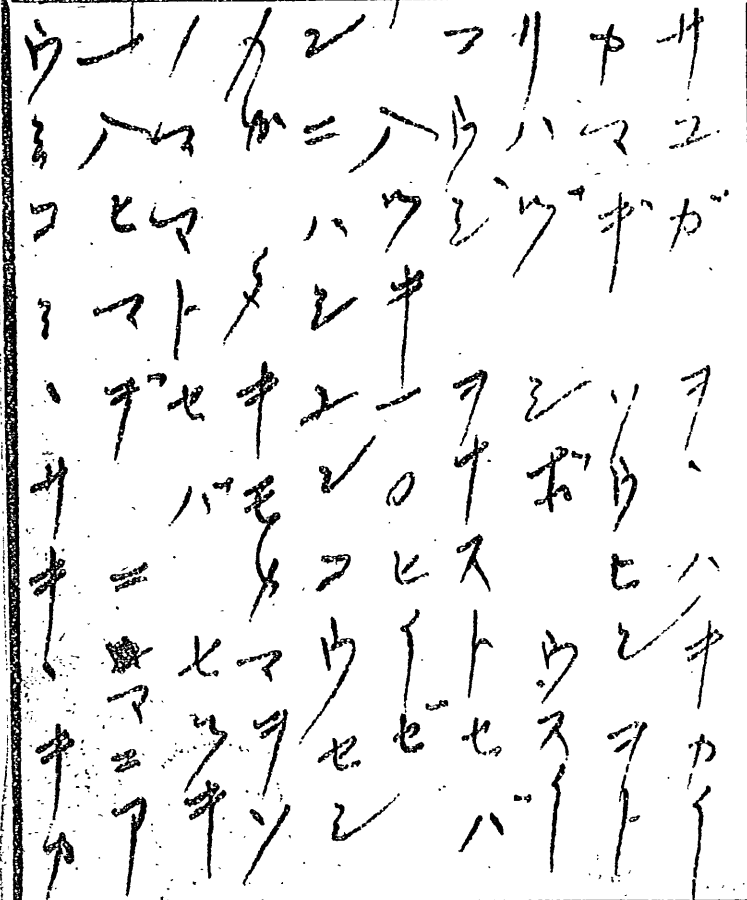
發信者 佐鎮參謀長

第三部  
艦政本部  
以本工段工セシノ中ニモ鐵工其係トモハ七月十日迄ニ  
會同見込、早月内梅園ハ本年一古身板造五・一形決  
裁ニ付、梅園會同ノ教育用ホトシテ供給ノ事トナリ居ル故七月十日  
以本工段工ニ雖モ何令、以指示ノ情ヲ

七八號



# 電 報 着 信 紙

局 着		局 發				名氏所居人信受	
取扱者	受信	付午後	付午前	第	局	官報	<div style="font-size: 2em; font-family: cursive;">  </div>
		後	後	三	日		
		時	時	六	分		
		分	分	號	日		
<div style="font-size: 1.5em; font-family: cursive;">  </div>						定 指	
						事 記	
						番着 號信	數紙
						12	第 三 六 號
						0	名氏所居人信發
						印附日信着	サ ニ

0996



# 電 報 着 信 紙

着 局		發 局					受 信 人 所 居 名 氏	
取扱者 受信 午後 後前 時 分	付 午後 後前 時 分	付 午後 後前 時 分	月 日	第 號	局	官 報		

定 指

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12  
 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24  
 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36  
 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48  
 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60  
 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72  
 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84  
 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96  
 97 98 99 100

番着 信號	數紙	名 氏 所 居 人 信 發
	第 三 八 號	
印 附 日 信 着		

0997

起案郵紙

大正四年六月

日起案 起案者 捺印

六月廿九

日發付 發付掛 捺印

發付後起 案者捺印

(提案)

總政本部長 櫻橋

第三部長 福田

部員 山本

大臣

次官 齋藤

參事官

副官

第四部長

下替 會計課長

軍務局長

秋山

局長

局長

局長

六月廿九日。...

電報案

大正四年六月廿九

海軍次官

佐鎮長官

本月十六日。奉電。皇月九日。連。在。霞。在。件。東。力。十八。第一

號番

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局、部
											受月日
											發月日

0998



大正四年六月九日起案 起案者

局員

六月十日發付 發付印

發付後起

案者捺印

(主) 軍務局長

局員

局員

局員

局員

大臣

次官

參事官

副官

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

經理局長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

教育本部長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

艦政本部長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

會計課長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

軍令部長

次長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

海軍大臣

次長

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

局員

大正四年

六月十日發付

海軍大臣

局員

局員

號番

第一班

第二班

第三班

第四班

第五班

號番

第一班

第二班

第三班

第四班

第五班

第六班

第七班

第八班

第九班

第十班

1000

膠州特種財源用標的船トシテ係用セシナリト云々  
為ニ格別既若クテ取外シテ防水氣防水蓋ヲ密閉シテ  
裏ニ特商標ノ防水設備ヲ施シ其標的速力十八節ニ  
堪ル味誤候ヲ施シセシナリト云々其ノ事是端ニ期  
分リ得テ通牒アリタシ

他命

# 電 報 着 信 紙

局 着	局	發 局	受 信 人 所 居 名 氏		
取 扱 者 受 信 付 午 前 後 時 分	受 信 人 所 居 名 氏 付 午 前 後 時 分 第 一 部 字 部 部	第 二 部 日 號	官 報		
定 指			官 報		
七月廿七日 行連電報 六月三十日電報 九月九日工部局 控令アリ 七月廿七日 行連電報 六月三十日電報 九月九日工部局 控令アリ			番 號 信	紙 數	名 氏 所 居 人 所 發
			第 七 號	廿 二	印 附 日 信 着

1002

船務部

參謀

副官

横濱受四年六月廿八日

積版第九 第九 第九

大正四年六月十七日

横須賀海軍工廠長 齋藤次郎

海軍大臣 八代六郎殿

供覽

新造雜役船起工及竣工予定報告

官房第三三三號訓令

軍艦鞍馬用四十呎汽機

壹隻

軍務局

大正四年六月十四日  
竣工予定 年七月十五日

艦政本課

第三部  
第四部

經理局

海軍